

東京電力ホールディングス(株)福島第一原子力発電所
2022年度 パフォーマンス向上会議情報(2023年2月28日(火)分)

◆不適合とは、本来あるべき状態とは異なる状態、もしくは本来行うべき行為(判断)とは異なる行為(判断)を言います。法律等で報告が義務づけられているトラブルから、発電所の通常の点検で見つかる計器や照明の故障など、広い範囲の不具合が対象になります。

2023年2月28日のパフォーマンス向上会議で審議された不適合は、下記のとおりです。

番号	不適合内容	グレード	発見日
1	<p>【社内業務品質監査における指摘について】 当社社員が社内業務品質監査において、品質目標及び品質目標の達成状況の記録について確認したところ、当該記録に作成日の記載がないこと、記録の承認と保管に不備があることを指摘された。 今後、是正を行うとともに、再発防止対策を検討。</p>	GⅢ	2月24日
2	<p>【既設淡水化装置(RO3-2)逆浸透膜出口ラインからの漏えいについて】 既設淡水化装置(RO3-2)を起動したところ、逆浸透膜出口ラインのフランジ及びホースの2箇所から漏えいしていることを当社運転員が確認。 淡水化装置を停止し、漏えいした水は回収済み。 原因は当該淡水化装置の出口弁が「閉」であり、閉めきり状態のまま起動したことによるものと判明。 他の既設淡水化装置(RO3-3, 4)の使用により淡水確保には問題なく、また建屋内淡水化装置により淡水化処理が代替可能であるため、淡水化装置の運転に影響はない。 今後、要因分析ならびに再発防止対策を検討。</p>	GⅢ	2月21日